海域火山の最近の活動について*

The Recent Activities of Submarine Volcanoes and Volcanic Islands

海上保安庁 Japan Coast Guard

前回(第136回)に報告した以後(2016年10月1日から2017年2月3日)の活動状況は以下のとおりである。

南方諸島方面

場所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
手石海丘	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
伊豆熱川	2016/12/24	海上保安庁	海岸線に幅約 200m、長さ約 1,500mで薄黄緑色の変色
			水域が認められた。
伊豆大島	2016/12/24	海上保安庁	三原山火口内の火口壁等3ヶ所から火口縁へ達しな
			い程度の弱い白色噴気を確認した。
			伊豆大島南西岸の千場崎付近に幅約 100m、長さ約 500
			mで薄い黄緑色の変色水域が分布していた。
			千場崎から地層切断面前面の海岸線にかけて、薄い黄
			緑色の変色水域が幅約 500mで分布していた。
			伊豆大島北西岸の小口崎と風早鼻の間の海岸線に幅
			約 100m、長さ約 300mで薄い黄緑色の変色水域が分布
			していた。
新島	2016/11/25	海上保安庁	新島南側の鼻戸崎から神渡鼻付近の海岸線に幅約 1,
			000mのごく薄い白色変色水域が分布していた。
新島	2016/12/24	海上保安庁	新島西岸の間々下浦から新島南端の神渡鼻にかけた海
			岸線に幅約200m~1,000mで青白色の変色水域が分布し
			ていた。また、神渡鼻から新島東岸の羽伏浦にかけた海岸
			線に幅約500mで青白色の変色水域が分布していた。
神津島	2016/12/24	海上保安庁	神津島南東側の多幸湾の海岸線約1,400mに沿って幅約
			100m~約200mで青白色の変色水域が分布していた(第2
			図)。
			天上山山頂及び付近に噴気等の特異事象は確認できな
			かった。
三宅島	2016/11/25	海上保安庁	ごく薄い黄緑色の変色水域が、三宅島東岸のサタドー岬
			付近の海岸線と三池港北側の海岸線の2ヶ所に幅約250~
			500mでそれぞれ分布していた。
			三宅島のその他の場所については調査できなかった。
三宅島	2016/12/24	海上保安庁	雄山火口内の火口底及びその付近から白色噴気の放出

場所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
			を認めた(第3図)。
			三宅島南岸の間鼻~ツル根岬間の海岸線5ヶ所に幅約
			100m~約300m、長さ約300m~約500mで薄い黄緑色の変
			色水域が分布していた。
			三宅島東岸の三池浜の海岸線に幅約300m、長さ約300
			mで薄い黄緑色の変色水域が分布していた。
			三宅島の北岸の大崎付近の海岸線2ヶ所に幅約100m~
			約200m、長さ約400m~約600mで薄い黄緑色の変色水域
			が分布していた。
			大船渡湾内の海岸線に幅約 250m、長さ約 800mで薄い
			黄緑色の変色水域が分布していた。
御蔵島	2016/11/25	海上保安庁	御蔵島東岸の元根から小川尻の根の海岸線に幅約 200
			~500mの薄い黄緑色の変色水域が分布していた。
御蔵島	2016/12/24	海上保安庁	御蔵島南岸の元根付近から南方向へ帯状で幅約 100m、
			長さ約750mの薄い黄緑色の変色水域が分布していた。
			また、御蔵島東岸のスバル岩付近海岸線に幅約 200m、
			長さ約 1,000mの黄緑色の変色水域が分布していた。
青ヶ島	2016/11/25	海上保安庁	以下の青ヶ島周辺の4ヶ所に変色水域が分布していた。
			青ヶ島北端の黒崎付近から北方向へ帯状の幅約250~
			750m、長さ約 1,500mで薄い黄緑色(第4図)。
			青ヶ島東岸の大千代付近の海岸線に幅約 500mの薄い
			黄緑色。
			青ヶ島南端の金太付近~青ヶ島港の海岸線に幅約 500
			mの薄い黄緑色。
			青ヶ島西岸の大凸部西側の海岸線に幅約 250mの薄い
			黄緑色。
明神礁	2016/10/6	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
明神礁	2016/11/25	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
明神礁	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
ベヨネース	2016/10/6	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
列岩			
ベヨネース	2016/11/25	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
列岩			
ベヨネース	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
列岩			
白根	2016/11/25	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
白根	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
須美寿島	2016/10/6	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。

場所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
須美寿島	2016/11/25	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
須美寿島	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
伊豆鳥島	2016/11/25	海上保安庁	硫黄山火口縁の南側に多数の白色噴気が放出してい
			た。また、北西側の1ヶ所からも白色噴気が放出してい
			た。
			兵庫浦から北ノ鼻付近の海岸線に幅約 500mの薄い黄
			緑色の変色水域が分布していた。また南崎から涙ヶ浜の
			伊豆鳥島南側の海岸線に幅 300mの薄い黄緑色の変色水
			域が分布していた。
伊豆鳥島	2016/12/24	海上保安庁	伊豆鳥島北岸の船見岬〜兵庫浦付近の海岸線に幅約
			300m、長さ約 1,200mで薄い黄緑色の変色水域が分布して
			いた。
			伊豆鳥島南岸の三ッ石付近~燕崎の海岸線に幅約 500
			m、長さ約1,400mで茶褐色及び薄い黄緑色の変色水域が
			分布していた。
			伊豆鳥島東岸の涙ヶ浜付近の海岸線に幅約 200m、長さ
			約 500mで薄い黄緑色の変色水域が分布していた。
			硫黄山火口内の1ヶ所からごく弱い白色噴気の放出が認
			められた。
孀婦岩	2016/11/25	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
孀婦岩	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
西之島	2016/10/6	海上保安庁	第7火口及びその周辺には噴気及び火山ガスの放出は
			視認されなかった。西之島周辺の幅約200m~約500mの範
			囲に薄い褐色の変色水域が分布していた(第5図)。
			西之島南方の西之島南海丘及び付近海域において変色
		>= 1 /2 -1-	水域等の特異事象は認められなかった。
西之島	2016/10/25	海上保安庁	第7火口火砕丘の南側斜面の割れ目付近でごく弱い白色
	~		噴気を視認したが、顕著な火山活動は確認されなかった。
	2016/11/3		熱計測画像では、第7火口火砕丘の南側斜面の割れ目
			付近及び溶岩原の一部に地表温度の高い領域が存在して
			いたが、調査期間中、顕著な温度分布の変化や温度上昇
			等の特異事象は認められなかった。 西岸、北西岸及び南岸の溶岩流を踏査したところ、噴気
			四岸、北四岸及び南岸の俗石流を踏査したところ、噴気 口や高温地帯等は認められず、火山性ガスの検出もなかっ
			日や同価地市寺は認めりれり、久田住みへの快田もながった。
			^{た。} 西之島の北西部及び南部の溶岩流頂部の表面には幅2
			一個之島の礼酉印及の用印の俗名加頂印の表面には幅2 ~3m、深さ5m以上のクラックが溶岩流の流れに沿って走っ
			ていた。
			\ / /Lo

場所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
西之島	2016/11/25	海上保安庁	火口及びその付近に噴気等の特異事象は視認できなか
			った。熱計測画像からは、西之島内に特異な熱異常は計測
			されなかった(第6図)。
			西之島周辺に幅約 100~500mで薄い茶褐色の変色水域
			が分布していた。
西之島	2016/12/4	海上保安庁	当庁船艇により実施した西之島の調査結果、第7火口及
			び付近からの噴気放出等、顕著な火山活動は確認されなか
			った。
西之島	2016/12/24	海上保安庁	西之島の周囲に薄い茶褐色の変色水域が幅約 200m~
			500mで分布していた。
			第7火口及びその付近からの噴気の放出等の特異事象は
			認められなかった。
海形海山	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
海徳海山	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
噴火浅根	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
硫黄島	2016/12/24	海上保安庁	硫黄島南西にある摺鉢山付近~硫黄島南岸の海岸線に
			幅約 1,000m、長さ約 5,000mで茶褐色の変色水域が分布し
			ていた(第7図)。
			硫黄島東岸は天候及び海面状況が悪いため変色水域
			の分布状況が確認できなかった。
			硫黄島北岸の為八海岸から井戸ヶ浜の海岸線に幅約
			500m、長さ約 2,500mで茶褐色の変色水域が分布してい
			た。
			硫黄島西岸の千鳥ヶ浜の海岸線に幅約300m、長さ約
			1,000mで茶褐色の変色水域が分布していた。
			硫黄島北東端にある北ノ鼻付近の噴気帯の4ヶ所から白
			色噴気が放出されていたが、2015年8月に水蒸気噴火した
			火口からは噴気の放出等の特異事象は認められなかった
			(第8図)。
			井戸ヶ浜にある 2015 年5月~6月に生じた水蒸気噴出
			の跡からは、噴気の放出等の特異事象は認められなかっ
			た。
			硫黄島西部にある阿蘇台陥没孔から白色噴気が連続
			的に放出されていたが、旧噴火口からは噴気の放出等の特
			異事象は認められなかった。
北福徳堆	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
福徳岡ノ場	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
南日吉海山	2016/12/24	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。

場所	年 月 日 調査機関等	活 動 状 況
日光海山	2016/12/24 海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。

南西諸島方面

一 			
場所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
霧島山	2017/1/13	海上保安庁	硫黄山の数ヶ所から白色噴気の放出を認めた。
			新燃岳火口内の1カ所から白色噴気の放出を認めた。ま
			た、新燃岳火口内の数カ所、および西側割れ目火口に弱い
			白色噴気の放出を認めた。
			御鉢及び付近で噴気・噴煙等の特異事象は認められなか
			った。
若尊	2017/1/13	海上保安庁	特異事象は認められなかった。
桜島	2017/1/13	海上保安庁	南岳火口に白色噴気の放出を認めた。
桜島	2017/1/14	海上保安庁	南岳火口及び昭和火口に白色噴気の放出を認めた。
山川	2017/1/13	海上保安庁	特異事象は認められなかった。
山川	2017/1/14	海上保安庁	特異事象は認められなかった。
開聞岳	2017/1/13	海上保安庁	特異事象は認められなかった。
開聞岳	2017/1/14	海上保安庁	特異事象は認められなかった。
薩摩硫黄島	2017/1/12	海上保安庁	硫黄岳火口から連続的に白色噴気が放出されていた。ま
			た、西側斜面、南側斜面、東側斜面、北側斜面のいずれか
			らも白色噴気の放出が確認された。
			東温泉から硫黄岳南岸、東岸を経て平家城跡付近までの
			海岸線に沿って幅 300~600mで黄白色の変色水域が分布
			していた(第9図)。また、平家城跡付近から幅 200m、長さ
			1,000mで帯状に青白色の変色水域が分布していた(第9
			図)。さらに、硫黄島港から稲村岳南東岸までの海岸線に沿
			って沖合に300~800mで褐色の変色水域が分布していた。
薩摩硫黄島	2017/1/14	海上保安庁	硫黄岳火口に連続的な白色噴気の放出を認めた(第 10
			図)。硫黄岳北側斜面、西側斜面、南東側斜面及び東側斜
			面のそれぞれ数カ所から白色噴気の放出を認めた(第 10
			図)。
			硫黄島港内に褐色の変色水域が分布していた。磯松崎
			から稲村岳南東岸の海岸線に沿って幅 200mで褐色から薄
			い褐色の変色水域が分布していた。東温泉から硫黄岳南岸
			の海岸線に沿って幅 300mで黄色から薄い黄緑色の変色水
			域が分布していた。また、硫黄岳東岸に沖合へ長さ500m、
			幅 1,000mの扇形で濃い黄褐色の変色水域が、硫黄岳東岸

場所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
			から平家城跡付近にかけて幅 200mで薄い黄褐色の変色水
			が分布していた。さらに平家城跡付近から沖合へ長さ300
			m、幅300mの帯状で青白色の変色水域が分布していた。
口永良部島	2017/1/14	海上保安庁	新岳火口及び新岳火口西側の2カ所から白色噴気の放
			出を認めた。また、古岳火口内の数カ所に白色噴気の放出
			を認めた。
			口永良部港内の向江浜前面海面に幅 400m、長さ 500m
			で黄白色の変色水域が分布していた。
			また、ニシマザキ南方約 1,000mの海岸線付近に幅 200
			m、長さ300mでごく薄い黄白色の変色水域が分布してい
			た。
中之島	2017/1/14	海上保安庁	御岳火口内及び御岳北東斜面噴気帯の3ヶ所にそれぞ
			れ白色噴気の放出を認めた。
諏訪之瀬島	2017/1/14	海上保安庁	御岳火口から白色噴気及び灰色噴煙の放出を認めた(第
			11 図)。灰色噴煙は東方向に流されており、高さについては
			雲のため確認できなかった。
			諏訪之瀬島東岸は、雲及び噴煙のため確認できなかっ
			た。
諏訪之瀬島	2017/1/26	第十管区	御岳火口から連続的に白色噴気が放出されていた。
		海上保安本部	また、諏訪之瀬島の南西岸から西岸には、変色水域等の
			特異事象は確認できなかった。
横当島	2017/1/13	海上保安庁	東峰の火口に噴気等の放出は認められなかった。
			東峰と西峰の接合部付近の南岸の海岸線に沿って幅約
			150mで黄緑色の変色水域が分布していた。
硫黄鳥島	2016/10/9	第十一管区	硫黄岳火口内及びグスク火口壁北側の噴気口に弱い白
		海上保安本部	色噴気の放出を認めた。また、硫黄岳火口内の湖水が縮小
			し消滅していた。
			硫黄岳火口の西側海岸線に沿って薄い褐色の変色水域
			が分布していた。
硫黄鳥島	2016/11/3	第十一管区	硫黄岳火口内及びグスク火口壁北側の噴気口に弱い白
		海上保安本部	色噴気の放出を認めた。
			硫黄鳥島の西側海岸線に沿って薄い褐色の変色水域が
			分布していた。
			また、硫黄岳火口の南側の海岸の一カ所に薄い黄褐色
			の変色水域が分布していた。
硫黄鳥島	2016/12/4	第十一管区	硫黄岳火口内の数カ所(第12図)及びグスク火口壁北側
		海上保安本部	の噴気口に白色噴気の放出を認めた。
			グスク火口内には噴気の放出は視認されなかった。

場所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
			硫黄岳火口の西側海岸線に沿って青白色の変色水域が
			分布していた。
硫黄鳥島	2017/1/7	第十一管区	硫黄岳火口内の数カ所及びグスク火口内の2カ所に白色
		海上保安本部	噴気の放出を認めた。
			また、硫黄岳火口の西側海岸線に沿って青白色の変色
			水域が分布していた。
硫黄鳥島	2017/1/11	海上保安庁	硫黄岳火口内及びグスク火口壁北側の噴気孔に白色噴
			気の放出を認めた。
			硫黄鳥島西岸の2ヶ所に青白色の変色水が分布していた
			(第 13 図)。
西表島北北	2016/10/3	第十一管区	特異事象は認められなかった。
東海底火山		海上保安本部	
西表島北北	2016/11/16	第十一管区	特異事象は認められなかった。
東海底火山		海上保安本部	
西表島北北	2016/12/15	第十一管区	特異事象は認められなかった。
東海底火山		海上保安本部	
西表島北北	2017/1/12	海上保安庁	特異事象は認められなかった。
東海底火山			
西表島北北	2017/1/17	第十一管区	特異事象は認められなかった。
東海底火山		海上保安本部	

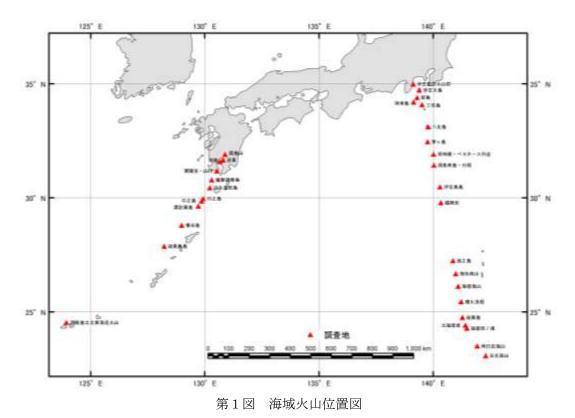
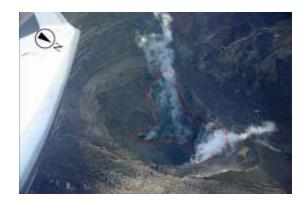


Fig.1. Location map of submarine volcanoes and volcanic islands



第2図 神津島 多幸湾の変色水域 2016年12月24日 12:23撮影

Fig.2. Discolored water in Tako Bay, Kozushima Island



第3図 三宅島 雄山火口内 2016年12月24日 12:40撮影

Fig.3. Volcanic plume from Oyama crater, Miyakejima

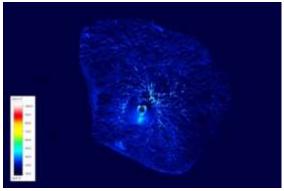


第4図 青ヶ島 黒崎付近の変色水域 2016年11月25日 15:19撮影 Fig.4. Discolored water near Kurosaki, Aogashima Island



第5図 西之島 北岸〜西岸〜南岸の変色水域 2016年10月6日 13:09撮影

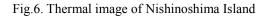
Fig.5. Discolored water around Nishinoshima Island



第6図 西之島熱画像 2016年11月25日 12:55~13:06撮影 撮影高度1,980m



2016年12月24日 15:09撮影 Fig.7. Discolored water near Suribachi-yama, Ioto Island





第8図 硫黄島 北ノ鼻付近の噴気帯 2016年12月24日 15:12撮影 Fig.8. Fumarolic area near Kitanohana, Ioto Island



及び平家城付近の変色水域 2017年1月12日 15:29 撮影 Fig.9. Discolored water on the northeast coast of Satsuma-Iojima



第 10 図 薩摩硫黄島 硫黄岳北側 2017 年 1 月 14 日 09:28 撮影 Fig.10. Fumarolic gas on the northern slope of Io-dake,

Satsuma-Iojima



第 11 図 諏訪之瀬島 御岳火口 2017 年 1 月 14 日 10:46 撮影 Fig.11. Volcanic plume from On-take crater, Suwanosejima



第 12 図 硫黄鳥島 硫黄岳火口 2016 年 12 月 4 日 14:51 撮影 Fig.12. Fumarole of Io-dake crater, Io-Torishima



第 13 図 硫黄鳥島の西側から見た状況 2017 年 1 月 11 日 15:22 撮影 Fig.13. The west side of Io-Torishima